

施餓鬼会・花園会総会について

昨年は6月に開催時期をずらしましたが、今年は役員改選の年でもあるので、4月17日に開催する予定で、山布教師の巡教もお願いしていました。しかしながら第6波によって本山も3月中の巡教師派遣を中止し、4月以降の実施もまだ未定です。

当山も感染状況を見て開催を判断しようとして、ご案内を遅らせて参りました。2月末でも香川県の感染者数が高止まりしている事と都市部では「まん延防止等重点措置」の再延長を検討するということニュースも報道されている状況で、なかなか4月17日に施餓鬼法要を開催できる目途が立ちません。そこで今年も施餓鬼法要は感染状況

を鑑みながら後日に開催するとして、役員改選や予算執行は遅らせると種々不都合が生じるので、総会のみ予定通り4月17日に開催したいと思っております。

ついては4月1日以降に、事前に文章で議案を皆様に送付致しますので、返信用紙に議案毎の賛否やご意見をご記入頂き、4月11日までに投函頂きます様お願い致します。(土曜日は配達されないで15日金曜に必着のため) 17日当日は、新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、現時点では役員のみ實相寺に集まり、希望者はZOOMで

ご参加頂ければと考えております。色々のご不便、ご迷惑をお掛けしますが、何とぞご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

實相寺花園會報

令和四年 三月一日発行
発行所 臨濟宗妙心寺派 陽明山 實相寺 實相寺花園会
〒761-0450 高松市三谷町 1811番地1
TEL.087-889-3838
編集発行人 山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第155号

お寺の掲示板

「善行を行い善の種を蒔けば、善の草生え善の花が咲き、善果を得るのが世の中である。」

『道歌教訓和歌辞典』

善蒔けは

善の草生えて

善の花

咲きつつ善の

みる世の中

二宮尊徳

以前から、歴史的に見ると天災と疫病と戦争は同時期に起こると認識していましたが、残念ながらロシアによるウクライナ侵攻が起こってしまいました。今は戦闘が早く終結し、世界大戦に発展しないことを祈るばかりです。その為にも小さなことからでも善い種を蒔きたいものです。

お釈迦さまの伝記・仏伝について⑩
 前回は「四聖諦」「二番目の「集」の本質、「渴愛」について、中でも「所有に對する欲求」を見ましたが、今回はもう一つの渴愛、「生を受けることへの欲求」について見てみましょう。これは「まだ生きたい」「もっと生きたい」「もう一度生まれ変わって生きたい」という願いです。が、「生老病死」の「四苦」では「生苦」になります。「老病死」は実質的な苦しみを受けるので比較的判り易いのですが、昨今「生苦」はともすると「生きていくことの苦しみ」と理解されることも多い様です。しかし、仏教本来の「生苦」とは「生まれない」という思い、「生を受けることへの欲求」なのです。勿論これは当時「輪廻転生」が信じ

られていたことが大前提としてあります。ただ「我々は輪廻する」という時に、現在の人生が終わっても新しい場所に再生するということは、それ自体が苦しみの始まりです。何故ならば、その新しい生もまた、渴愛によって様々な葛藤を生むからです。「もう一度生きたい」「生まれ変わりたい」という欲求が何故いけないのか？そう思う人もいるでしょう。しかし世の中には「もう二度とこんな苦しみは味わいたくない」という状況の人も沢山います。輪廻するということは、そうした苦しみが永遠に続くということですので、「輪廻からの解脱こそが安楽だ」と考える人達も大勢いました。その代表格がお釈迦様であったということなのです。

さて私達の中にある「渴愛」と「無明」が苦しみを生み出すわけですから、お釈迦様の教えは「渴愛」と「無明」を消すことが目標になります。もし「生を受けることへの欲求」を承認するのであれば、それは「次はより良い場所に生まれ変わります様に」という宗教になります。そういう宗教は世界中に沢山あります。しかし仏教は二度と生まれ変わらないうことを目標とするので、その為に「渴愛」と「無明」という本能的欲求を無くすという道を選びました。その為の具体的な方法が四聖諦の「道」であり、「渴愛」と「無明」の無くなった状態が「滅」です。具体的には「より多くを、いつまでも持ちたい」という思いと、「いつまでも生き返りたい」とい

う思いが消えた状態が「滅」です。これは言い換えると「人よりも多く長く持っている方が幸せだ」という価値観から離れて、「現在の人生以外に生まれ変わること求めない」、つまり「涅槃」を目指すということであり、これが仏教の根本的な目標なのです。これまで「苦集滅道」の「四聖諦」について解説しました。これが仏教の世界観全体を表す、基本的な考え方です。だからお釈迦様の伝記では、最初に説かれた「初転法輪」の教えとして伝えられているのです。余談ですが、近頃は主人公が異世界に転生するアニメがやたらと多いのですが、これは「今の自分とは違う自分になりたい」という若者の厭世観が影響していると住職は感じています。